

金沢総合車両所松任本所跡地における地下水調査の結果について

2026 年 2 月 20 日

西日本旅客鉄道株式会社

弊社では旧金沢総合車両所松任本所の閉所に伴い、2022 年度より土地の状況把握を目的に土壌汚染状況調査を実施しています。このたび工場敷地内の地下水についても調査したところ、本日、地下水の環境基準値の超過が判明したことから、石川県および白山市へ調査結果を報告しました。

周辺住民の皆様には、大変なご心配とご不安をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。引き続き石川県・白山市の指導のもと適切な対応をさせていただきます。

1 これまでの経緯

- これまでの表層調査で敷地内の一部において、基準不適合区画があったため、深度方向調査を行いました。その結果、対象地点において深度 10m までは地下水の存在がないこと、また基準不適合土壌の分布は深度 10m 未満であることを確認しております。
- また、このことから 2025 年 11 月に開催された白山市の跡地活用委員会にあわせ、「敷地内の一部区画で汚染物質は認められたものの、地下水を介して敷地外へ汚染物質が流出する可能性は極めて低い」ことを報告しておりました。
- このたび、その後の調査として基準不適合区画の代表地点の観測井戸を地下水位まで掘り進めたところ、水質の環境基準値の超過が判明しました。

2 地下水より検出された物質について

- (1) 場 所 金沢総合車両所松任本所跡地
石川県白山市新田町 289 番
- (2) 物 質 テトラクロロエチレン
- (3) 濃 度 0.029mg/ℓ (環境基準値 0.01mg/ℓ以下)

3 当面の対応について

- 石川県・白山市では、11 月の報告を受け敷地から概ね 500m 以内の飲用井戸の状況について調査されているところですが、水質の調査結果が明らかになるまでの間、白山市より飲用使用の制限についてお知らせいただきます。
- 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査の結果を速やかに取りまとめるとともに、石川県の指導を仰ぎながら汚染の除去等の措置を着実に実施してまいります。

以 上

【参考】金沢総合車両所松任本所跡地における調査概要について

1 調査概要

- (1) 調査目的 閉所に伴う土地の土壤汚染の状況把握
- (2) 調査期間 2022 年 12 月～
- (3) 調査機関 株式会社 KGS（環境省 土壤汚染指定調査機関 2003-5-3017）
- (4) 分析機関 株式会社エオネックス（表層調査）
ユーロフィン日本環境株式会社（深度方向調査・地下水調査）
- (5) 実施概要

時 期	内 容
2022 年度	地歴調査（土壤汚染が存在する可能性の区分）
2023・2024 年度	表層調査（試料採取等）
2025 年度	一部深度方向調査 代表地点の地下水調査【今回】

2 調査結果

- ・ 2022 年度の地歴調査により、土壤汚染のおそれがある旨判定されました。
- ・ 2023・2024 年度の表層調査により、対象区画の一部において、基準不適合区画があることを確認しました。なお、基準不適合となった物質は、テトラクロロエチレン、六価クロム化合物、鉛およびその化合物でした。
- ・ 2025 年度の深度方向調査により、対象地点において深度 10m までは地下水の存在がないこと、また基準不適合土壤の分布は深度 10m 未満であることを確認しました。地下水の有無を確認できるよう、地下水観測井戸を設置しております。
- ・ このたび敷地内の地下水について確認をすべく、テトラクロロエチレンを検出した箇所のうち、最も濃度が高い地点について、地下水位まで井戸を掘り進めたところ、2 月 6 日に深度 16.22m 地点において地下水を確認・採水しました。
- ・ 成分分析を行ったところ、本日（2 月 20 日）テトラクロロエチレンの環境基準値の超過（基準値 0.01mg/ℓ のところ 0.029mg/ℓ 検出）が判明しました。
- ・ その他の特定有害物質については、基準値未満であることが確認されました。

